

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|----------|
| 事業所番号 | 2297200293 | | |
| 法人名 | 株式会社アイケア | | |
| 事業所名 | グループホームあいの街浜北 | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市浜北区於呂2406-1 | | |
| 自己評価作成日 | 令和3年7月28日 | 評価結果市町村受理日 | 令和3年9月7日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&UjyosyoCd=2297200293-00&ServiceCd=320&Type=search |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室 | | |
| 所在地 | 静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 令和3年8月18日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|--|
| <p>穏やかに過ごせる施設であること。 自分の思いに応えられるように考えます。 コロナ禍におき、ご家族との繋がりも大切にしています。 施設だけではなく、ご家族の一員であることが確認できるものでありたいです。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| <p>事業所の理念「笑顔のある生活」を基盤とし、「一人ひとりがどうい生活をしたいか」に日々寄り添う事業所です。「手紙を書きたい」「本を読みたい」「昭和の音楽に触れたい」「お茶碗洗いが日課」「理美容を営む家族にカットしてほしい」etc...やりたいことをやって過ごせるように、職員は最期の時間の伴走者として「穏やかに過ごす」ことを念頭に「笑顔がある施設でいたい」との思いを貫いています。「一人いち楽器」を合い言葉にギター、サックス、シンセサイザー、胡弓と取組、楽器が苦手という人もリコーダーや指揮者担当となり、利用者に披露することも始めていて、演奏に涙する利用者の姿にチームワークも更に高まっています。</p> |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 昨年より、コロナ禍により、2ヶ月に1回開催する地域密着推進会議が、紙面開催となることが多くなってしまっています。 | 法人の「当社の理念」「社是」は更衣室に、また事業所の理念「笑顔のある生活」はフロアに掲示しています。利用者が笑顔になるようにとの想いが共有できていることが取組にしみ、安寧が滲みます。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 昨年は、フェスタの開催も出来ず、お祭りも中止となり寂しい1年になりましたが、4月のお花見は桜の木の下でお弁当を食べる事ができた。 | 開設以来継続していた「あいの街フェスタ」はコロナ禍で昨年休止したものの、法人30周年と事業所10周年を祝い、本年7月にはアーティスト「SORA」を招いてライブイベントが開催され、自治会も出席くださっています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | フェスタ開催時、往診医による講話。AEDの取り扱いについての解説など企画は、開催できていない。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ヒヤリハット・事故報告書の検証をしている。 | 昨年からの運営推進会議はメンバーが集まることは難しくなっていて、事業所内で職員のみで2ヶ月分の取組をまとめ、郵送で届ける書面開催としています。 | メンバーから意見がもらえるよう、書面郵送には返信シートを同封することを期待します。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議の案内・議事録の提出は必ず行っている。 | デイサービス、居宅介護支援事業所、小規模多機能事業所、グループホームの4事業所があり、また日頃から地域への発信に力を入れていることも相まって、地域包括支援センターとの密な関係を築けています。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束廃止委員会を同時開催し、身体拘束廃止委員をお願いしています。 | 転倒しやすい人には起床時に本人が動線がわかるよう工夫をおこなう等、個別対応はカンファレンスにて改善され、身体拘束廃止委員会で事例検討をおこなうことはありません。また運営推進会議と同日開催であるため、書面開催の影響を受けていることも視えます。 | 身体拘束廃止委員会の内容がやや希薄で研修的になっていますので、小さなことでも課題解決の場となることを期待します。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 本社の研修に参加した職員からの内部研修 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 必要な方がいれば、ケアマネ等に連絡し、適切な対処をする。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時、その前までにご家族様にも納得して頂けるように説明し、ご本人様にもご家族様より説明して頂けるようお願いしています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族からも話合い雰囲気作りをしている。昨年は、家族会が開けなかった。 | 以前は孫まで加わつての家族会があり、ハフ園や葡萄狩りと賑わいを共にしていましたが、現在は「あいの街浜北だより」にて状況をお知らせするに留まっています。家族の中には「アルバムをつくって届けたい」という人もいます。 | 現在の便りは事業所通信的です。面会も儘ならない状況であることを鑑み、1ヶ月の様子がより伝わるよう個別のものとなることを期待します。 |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ミーティング等、いつでも話ができるようにしている。 | 開設から勤務する3名を中心に、ここ3年は職員体制が変わらず安定しています。年配の職員もタブレットを通じて介護記録をとることに無理がなくなり、外国人の職員も受け入れ、建設的な意見交換が成されています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員同士「お互い様」の精神を大切にしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | いつでも、何回でも聞いてもらえるよう、声掛けしている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 社内研修などで、他事業所の方と交流を持つ。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 信頼関係を築く為、傾聴し寄り添います。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 施設を見学して頂き、それまでのお話を聞きます。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご家族・ご本人様とお話し頂き、ケアマネも含めご納得頂けるサービスを提供させていただきます。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 職員の未熟さも成長も、利用者様と一緒に楽しめたらいいです。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 施設・ご家族・利用者様と一緒にいい関係を築きます。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族の都合があれば、床屋など今までの所で行っている。 | コロナ禍であっても状況が良いときは条件付きで会えるよう配し、緊急事態宣言がでたらリモートに変更する等柔軟に対応しており、県外のキーパーソンにはeメールで写真を貼付送信して、関係継続を支援しています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様同士が交わるように職員が入っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|-----------------------------------|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 要望があれば、いつでもお話しできる体制でいます。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | その方、その方の大きな希望を把握しケアを行っています。 | 全盲の利用者のために「お花紙丸め」のアクティビティを考案したり、昭和の音楽を懐かしみ飲む利用者にはカセットテープの音を用意する等、職員の心遣いある取組例が見られます。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所時にそれまでの環境・経緯を聞いて、職員に話します。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 必要な方は、週2から3回の体重測定も行っています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 問題行動があった場合、その背後にある環境を模索します。 | 担当者欄には職員以外(家族)の記載もあり、サービス内容は「喜び」などの情緒面が綴られ、課題(ニーズ)には本人の状態解説が含まれていて、ベテランの気遣いに満ちた介護計画書が作成されています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 職員一人の気づきを他職員とも共有し、話合います。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 状況の変化はその都度、ご家族に連絡し相談しながら柔軟に対応します。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 昨年より、ボランティアさんが受け入れできていません。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 基本的にはご家族の対応となりますが、訪問診療をして頂けるかかりつけ医にお願いしています。 | 1名のみ馴染みの医院へ家族の送迎で通院しています。他の利用者は、事業所のイベントでは講演者となってくださるほど親しい医師の訪問診療を受けており、管理者と介護支援専門員、担当職員が立ち合っています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 体調の変化は看護師に伝え、必要であれば往診・ご家族による受診をお願いしています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院に至るまでの経緯を報告し、入院中も経過など共有しています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 往診の医者との連携により、悪化させないよう努め、看取りまでの支援をしています。 | 家族が「医療的措置ができなくてもよい」とするなら看取りをおこなう態勢でいますが、協力医は24時間365日オンコールで日頃から親身であり、近隣の医療機関も「点滴ならいくよ」としてくださり、職員には心強い環境にあります。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変や事故発生時の手順を話し合っています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練の実施 台風シーズンには、防災用具の点検を行う。 | 春と秋1回ずつの実施とし、秋は消防署から水消火器を借りるのが定番です。職員が脇について利用者もできる人は操作しており、訓練というよりイベントとして和気藹々の中、習得しています。 | クラスターがでた場合の対応手順については地域包括支援センターの指南を受けていますが、今一度防災と感染症のBCPを見直すことを期待します。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ご本人様のやりたい事を無理強いせずに行っています。 | 「申し送りのとき他の人の耳に入らないように」といったごく普通のマナーは当然のこととし、「自由にやりたいことをやってもらえるのが一番」と、食事前の口腔体操以外は本人の自由にしてもらっています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 思いが通るように、穏やかに話掛けます。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している | 体調など無理のないように過ごします。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 2ヶ月に1回の訪問理美容 馴染みの床屋さん場合はご家族の対応です。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | その方にあつた食事形態。 お食事レクとして、屋台らーめん・餃子パーティーの開催。 | 普段はレトルトタイプのもので業者から届きますが、「〇〇食べたい」には柔軟に差し替えています。代替としては、「お彼岸にはおはぎ」といった時節料理、餃子パーティーをはじめ参加型のプレート料理が人気です。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事の摂取が出来なかった時の声掛け、食事時だけでなく水分補給の実践 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケア、夜間の義歯洗浄。 舌磨きの声掛け、実践。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | ご自身にあった排泄パターン実践無理なく過ごせるように声掛けます。 | 排泄チェック表は日数を追った流れも把握できる従来の紙面とともに、タブレットの中にも記録しています。また便秘対策は腹部マッサージだけでなく、水を流す音を聞いて想起してもらうといった努力を積んでいます。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 往診の医者と相談しながら、自然便があるように支援します。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴の拒否のある方も、気持ちよく入浴できるように声掛けから気を付けています。 | 利用者の塗り絵作品「鶴と富士山」を浴室に掲げて銭湯気分を醸しだし、「湯船でのおしゃべりが楽しい」という人が多くいます。また重度化には法人内の訪問入浴介護事業所から機材を貸し出してもらえます。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 週1回のシーツ交換・布団干し、季節の布団交換。個室の提供。温度調節。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬変更時の職員間での共有。配薬・服薬の確認は、複数の職員で行っています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 日常の洗濯物を干したり、畳んだり。食器洗いを職員と一緒にお願いしています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍により、外出が出来ない1年でしたが、お花見等で外出。 ご家族と一緒にの外出は、お願いしました。 | 御馬ヶ池(おんまがいけ)や岩水寺と人気を避けたお花見へと出かけ、船明(ふなぎら)ダムの桜並木も散策でき、わずかでもコロナ禍を忘れることが叶いましたが、日常的にはほとんど外出できません。庭に出での外気浴と室内の歩け歩けを継続中です。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 基本的には、お金の所持はありませんが、外出時には、お買い物ができるように支援しています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 携帯電話を持っている方も自由にお話しされています。ご家族とお話しされたい希望があれば、電話をかけてもらいます。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自分たちで製作した壁画や、レクの写真を季節で変えて展示しています。 | 9時、11時、15時、16時とアルコール消毒の回数を重ね、どこか必ず開けるようにしており、換気にも余念がありません。また空気清浄器と扇風機も新たに購入、アクリル板を設置するとともに専門業者に全てのエアコンの掃除を依頼しています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | フロアでの席決めは、自由ですが安心していられる方の近くで過ごせるように配慮しています。 居室にも自由に行かれるように声掛けしています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | お部屋には、ご自分の写真など貼っています。ソファなどを持ってきてもらい、自由に過ごせるようにしています。 | 足元がふらつくようになると、ドアまで近くなるようベッドの位置を移動する等状況に応じて都度家具の配置を替えています。馴染みの椅子や伴侶の写真のほか、鏡とブラシには身だしなみに気遣う気持ちが伝わります。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 自由に動けるように工夫しています。 | | |